

地域安全すみれ会（三重県）

私たちが活動している地域は、伊勢志摩サミットが行われた三重県の北部に位置する四日市市富田地区です。富田地区は人口が1万2,200人、世帯数は5,425あります。自治会の数は55あります。

地域安全すみれ会は、平成8年8月、女性の立場から、犯罪や事故の被害者となりやすい社会的弱い立場の人たちの安全を守るとともに、安全で快適な社会づくりに貢献することを目的として発足しました。富田地区の16団体から選出された女性だけで構成されています。当初は37名でのスタートでしたが、20周年を迎えた現在は101名になりました。富田地区の中にある16の様々な団体に属する皆さんが集まって、地域安全すみれ会は成り立っています。



それでは、活動概要について説明します。平成16年に買い物パトロール隊を結成しました。これは多くの方に、負担が少なく取り組みやすい活動はないかと考えた結果です。毎日の買い物や犬の散歩等、ちょっとした外出中に、携帯に便利でパトロール中であることを示すワッペンを付けて、各自が自由に地区内をパトロールするというもので、簡単です。パトロール中に不審者や不審車両を見つけたときやいつもと少し違うと感じたときは、緊急の場合は警察へ通報、それ以外の場合は、パトロール手帳に書き留めて、懇談会で報告し合います。これらの活動が地域の防犯の目となります。また、無理なくできる活動として、使えなくなった傘の布の部分をリサイクルしてひったくり被害防止用の自転車前カゴカバーを作製し、地域のお寺の節分行事の際に、配布しました。

次に、地域安全マップの作成について説明します。富田地区全町を対象に、危険な道路や通学路で防犯上危険と感ずる箇所はないか、また一方で、青少年のたまり場となりやすい公園や空き家、路上駐車等について調査しました。皆で調査をした後にまとめられた報告書が提出され、これらに基づいて、地域安全マップを4,000

部作成して、全戸配布しました。また、安全マップ以外にも、とみだ防犯・交通安全活動グラフティという小冊子を作成し、関係者に1,500部配布しました。

次に、すみれサロンについて説明します。富田地区も高齢者の占める割合は年々高くなっています。今社会問題となっている特殊詐欺や悪質商法等の被害に遭わないように、良き隣人関係と高齢者の安全を目指して、自治会長と話し合い、平成21年から、毎月第2火曜日にすみれサロンを開催しています。

次に、パトロール懇談会について説明します。私たちが活動を続けていく上で、一番大切にしているのは、年3回行う懇談会です。毎回多くの隊員と、地区の連合自治会、社会福祉協議会、行政、警察、交番、そして小学校・中学校の代表者が一堂に集まり、警察から犯罪発生状況や様々な犯罪被害防止対策等の研修を受けて、パトロール隊員からは提出された報告書を各団体、各地区別に発表し、全員が懇談するというものです。この報告書は現状把握資料として、当日出席できなかった隊員全員に「パトロール隊だより」と一緒に配り、隊員同士の心をつないでいます。

次に、地域との連携についてですが、毎年秋の文化祭には、防犯ポスターや標語の展示を行っております。また、地区の納涼祭、体育祭は駐輪場係や環境係等をしながらか、町の皆さんや会員同士の絆作りをするとともに、地域との関りも深めていくように努めています。

さて、このように活動を続けてきた効果として、防犯に対する住民の意識が高くなり、多くの方が防犯に取り組むようになりました。若いお母さんたちと御年配の方々が垣根を越えて仲良く活動しています。また、まちなか探検等で子供たちも危険に対する意識が高くなり、不審者にあつたときにもうまく対応できたという報告を受けています。さらに、

皆でパトロールすることで、町中のゴミの散乱や自転車の放置、少年のたまり場等、今まで気になっていたことがずいぶん改善されました。これらのことから犯罪の発生しにくい地域ができたように感じています。

最後に、今後の取組として、より多くの会員に、防犯ベストをもっと着用してもらいたいと思っております。やはり見せる防犯が一番効果があると感じています。複数の会員が集まって、一緒に取り組んでいますが、まだまだ力不足なので、自治会等の他の団体と、さらに連携を深めた活動が必要になると思っております。地域全体が防犯に興味を持って、お互いに協力し合える体制作り、特に若い世代の方々が防犯活動に参加しやすい取り組み方を考えながら、私たちは笑顔でいつでも気軽に、そしてできるときに、できる場所でパトロールを続けていきたいと思っていま

4 活動効果

- 防犯に対する住民の認識が高くなり、「私にもできること」に多くの方が取り組むようになりました。
- 子ども達も危険に対する意識が高くなりました。
- まちなかのゴミの散乱や、放置自転車、少年のたまり場など、今まで問題になっていたことが少しずつ改善されています。

**犯罪が起きにくい
地域づくりができてきた**

す。



質疑応答

(質問者)

地域安全マップや広報誌等、非常によくできていると思うのですが、これは会員の方だけでお作りになったのですか。

(地域安全すみれ会)

はい。そうです。私たちのパトロールは組んで歩くのとは違って、自由なものですので、パトロールしているか、していないのかがわからないのです。ですから、年3回の懇談会に向けて、それぞれのパトロールの実施結果の報告書を出していただき、その報告書を基に、作成しています。そして、各戸に配布するところまでを、自分たちで行っています。

(質問者)

若い世代の参加促進ということで、幼稚園や保育園の保護者の皆様に対するアプローチというのは良い施策かと思うのですが、皆さん賛同される方ばかりではないと思うのです。実際にはどのような反応や声が聞かれているのかということについて教えてください。

(地域安全すみれ会)

すみれ会は、会員が女性だけですが、その中に、園長先生、小・中学校の教師や校長が入っていただきました。また、園長先生を通して、募集活動を行っています。幼稚園や保育園の保護者は、数年で入替えになりますが、中には、子供の卒園後も活動を継続する方もいらっしゃいます。